

社会福祉法人 神戸いのちの電話 事業案内

2022年度事業報告・2023年度事業計画

ごあいさつ

世界的なパンデミックとなった新型コロナウイルス COVID-19 感染が日本で確認されてから 4 年目の春を迎え、5 月 8 日からはようやく感染法上の類型も第 2 類から第 5 類に変更されました。長い期間でした。しかし、感染者数は少なくなったと言いながら、また再燃し第 9 波は確実だと専門家が予想するように、依然として不安な日々を過ごしています。神戸いのちの電話もその影響を大きく受けた一年を過ごしましたが、ようやくコロナ前に近い諸活動に戻ろうとして 2023 年度の歩みを始めています。

2022 年度も、兵庫県、神戸市をはじめ多くの支援団体の皆様、維持・賛助会員の皆様、また相談員、研修委員、役員、評議員の皆様から、私どもの活動に対して、それぞれのお立場で多大なご支援、ご奉仕、ご協力を賜りましたことに厚く感謝申し上げます。

2022 年度、神戸いのちの電話は、急激なオミクロン株によるコロナ感染拡大のために相談員の確保などの苦心をせざるを得ない状況となりました。しかし、関係者の感染予防に細心の留意を図りながらも活動を継続することができました。

全国の統計によると、1998 年に自殺者が 3 万人を超えて以来 14 年間も 3 万人を下すことのなかった数が、2012 年から 10 年続けて 3 万人を下回りましたが、コロナ以降は微増に転じ、2022 年の総数は 21,881 人（前年比 874 人増）であったという報告がありました。また、兵庫県においても前年比 31 名増の 947 人で、増加傾向を懸念しています。

2022 年度の神戸いのちの電話は年間 12,597 件の電話相談を受け、昨年より大きく増加（2,414 件増）しました。2018 年 12,693 件、2019 年 13,062 件でしたので、コロナ前に戻っていると言えます。その数字は依然として悩める多くの方々が社会におられ、コーラーの増加に繋がっていると認識するものです。

神戸いのちの電話はこのように大きな社会的意義を持つ活動でありながら、継続されるいくつかの課題をもって、日々活動を続けています。目標である 24 時間 365 日の電話受信の実現には、まだまだクリアすべき課題があり、深夜帯での電話相談の拡充を目指していきます。そのための相談員の確保、維持、養成には更なる努力が必要です。

若者の電話離れ、SNS への依存という現象を受け、青少年のネット相談という需要への対応も継続課題です。また、財政の健全化は依然として私たちの大きなテーマです。

このような課題を持つつ、私たちにできることは小さなことかも知れませんが、長く大切にしてきた活動を継続し、少しでも悩み苦しむ人々に寄り添うことができたら、と願っています。

神戸いのちの電話は皆様のお支えにより、開局 40 周年を超えて活動を続けることができています。今後もこの活動の維持発展のために、皆様の温かいお励ましとご支援をどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

社会福祉法人 神戸いのちの電話
理事長 水野 雄二

I. 2022 年度 事業(活動)報告

電話相談活動

- ① 「神戸いのちの電話」の活動をより活性化し促進することのために、神戸市から補助金の増額提案があり、10月から実施されたことが、相談員の活動へ取り組む意欲の向上につながった。
- ② 2021 年度はコロナ禍により活動時間の短縮があり総受信数も例年より減少したが、2022 年度は出来るだけコロナ以前の活動に戻すという積極的な取り組みを続け、毎月 1,000 件を超えて受信することができた。総受信数は 12,597 件(前年度比 2,414 件増)で、内訳は男性 6,236 件、女性 6,342 件、その他 19 件、自殺傾向は 7.2%(前年 7.6%)だった。
- ③ 在籍相談員数は 4 月 1 日現在 141 人(男性 20 人、女性 121 人)

継続研修(グループ・スーパービジョン)など

- ① 相談員全員が 13 グループに分かれて(初年度 36 期と仮認定 37 期はそれぞれ 1 グループ)、事例をもとに毎月(8 月は休み) グループ・スーパービジョンを行い、ハンドブックの読み合わせなど基本事項の確認や相談員の心のケアも含めて、電話相談に臨むスキルの研鑽を実施した。
- ② 自殺予防フリーダイヤル研修は継続研修時に危機事例のロールプレイを行い、自分のグループで受講できなかった場合、他のグループに参加して全員が受講した。
- ③ 全相談員受講の全体研修、また役員をはじめ法人の全ての関係者が受講してハラスメント研修を行った。録画による受講や DVD による自主研修によって全員が受講した。

養成講座

- ① 37 期仮認定 2021 年度養成講座受講の 37 期生が仮認定となり、研修委員のモニターによる電話実習を含め、継続研修を重ねて 10 名が新相談員として認定された。
- ② 38 期 2022 年度応募の受講生が、1 日研修や電話相談ロールプレイ、研修委員のモニターによる電話実習を経て 11 名が仮認定相談員となった。

公開講座

- ① 38 期養成講座受講者募集を目的として開催。応募に際して 8 回の講座を 6 回以上受講することにしている。

名 称	『生きづらさの中を生きる』(8 回連続講座)	
5 月 15 日	桃田茉子『ストレスと PTSD のケア』	受講: 77 人
5 月 21 日	井出浩『こころの病について』	受講: 72 人
5 月 28 日	藤田裕一『アドラー心理学とストレングス視点を活かした相談支援』	受講: 85 人
6 月 4 日	関本雅子『ターミナルケア「看取る」とは』	受講: 74 人
6 月 11 日	川喜田好恵『今、ジェンダー(性)の抱える問題とは』	受講: 65 人
6 月 18 日	南部眞理子『虐待、その関係性へのおもい』見えにくい生きづらさのなかで	受講: 84 人
6 月 25 日	藤井美和『寄り添いに求められるもの』(リモート出講)	受講: 75 人
7 月 2 日	白石大介『人生における危機とその対応』	受講: 64 人

- ② 39 期養成講座受講者募集に向けての説明会を兼ねて開催。

名 称	“あなたのそばにいます” ~生きることの辛さ悲しさに寄り添う~	
2 月 25 日	北村登『コロナ禍におけるこころの健康をささえて』	受講: 56 人

広報活動

- ① 昨年開局 40 周年を経て、これまでの電話相談や相談員の推移、研修の変遷など歴史をたどって、新たな展望へ向かう 40 周年記念誌を発行した。
- ② 広報誌 82 号(7 月)と 83 号(12 月)を発行し、支援者や関係団体に送り、学校関係に連盟の自殺防止のポスターと共に配布して、いのちの電話の活動の支援や周知促進を図った。

その他の活動

- ① 園城ミ力さん(京都在住)から神戸いのちの電話を支援するコンサートを開催したいという提案があり、9 月 17 日神戸市灘区の兵庫県立美術館・原田の森ギャラリーにおいて、『京都カルテット』室内楽団の特別編成で開催。約 70 名の参加者があり、当日の募金を合わせて 216,000 円の支援の寄付を頂いた。
- ② 3 月 11 日神戸市総合福祉センターにおいて、デンマーク在住のピアニスト牧村英里子さん、ボー・ハーゲン・クラウセン/ラモーナ・マッチョ さんと神戸いのちの電話相談員との LGBTQ についての理解を深めることを目的として、座談会を実施。ラモーナ・マッチョ さんは幼少期に自身の性自認に周囲との違和感を持ち、悩みながらも明るくパフォーマー、歌手、人形劇マイスターとしても活躍している。2020 年デンマークの LGBTQ 文化賞にノミネートされた。今日のウクライナ情勢を含むヨーロッパの状況を背景に、牧村さんとラモーナさんのトークに相談員も加わって、深い共感のある研修となった。

2022 年度

資金収支計算書 (単位:円)

科 目	決算額
収入	事業(養成講座等)収入
	補助金収入
	寄付金収入
	維持・賛助会収入
	その他の収入
	収入の部合計
支出	人件費
	事業費
	継続研修等経費
	公開・養成講座等経費
	相談員活動・研修費
	交通費・郵便通信費
	印刷製本・図書費
	活動維持費
	事務費
	支出の部合計
	収支差額

貸 借 対 照 表

2023年3月31日現在 (単位:円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
流動資産	14,588,663	流動負債	1,063,652
現金預金	8,974,491	未払金	570,064
未収入金	5,614,172	前受金	393,000
固定資産		預り金	
基本財産	10,000,000	固定負債	0
定期預金	10,000,000		
その他の固定資産	4,118,933	負債の部合計	1,063,652
器具及び備品		純 資 産 の 部	
ソフトウェア	234,850	基本金	10,000,000
備品等購入積立資金	2,000,000	備品等購入積立金	2,000,000
周年行事積立預金	899,340	周年行事積立金	899,340
		次期繰越活動増減差額	14,744,604
		(うち当期活動増減差額)	△1,164,159
		純資産の部合計	27,643,944
資産の部合計	28,707,596	負債及び純資産の部合計	28,707,596

※事業費の印刷製本費には周年事業積立金取崩しによる 660,440 円が含まれる。

Ⅱ. 2023年度 事業(活動)計画

2022年度は神戸市からの増額された補助金により相談員の意欲を高め活動を促進することができ、コロナ禍による総受信件数の減少から回復に向かうことができた。2023年度は次の事項を重点として取り組みます。

- ◎ 電話相談活動の充実と促進を図り、1本でも多くの電話相談を受け、つながりやすい電話相談を目指して、元来の目標であった365日24時間受信に向かって、もう一步電話相談体制を強化する。
- ◎ 相談員のスキルアップ心のケアなど、複雑化する相談内容に寄り添える相談員の支援体制を充実する。実際の電話相談に則した継続研修や全体研修、フリーダイヤル研修を行い、対応に苦慮する電話などに起因する相談員のこころの悩みを軽減化出来るように研修体制を整える。
- ◎ 公開講座、養成講座を様々な方々が受講しやすいように計画して受講者の増加をはかり、活動を促進できる相談員が増えるプログラムを進める。
- ◎ 相談員として電話相談活動を継続していくように、相談員どうしの関係を深め、情報の共有化を進める。休会や退会した相談員の「復帰プログラム」を周知して、復帰促進を図る。
- ◎ 充実した相談活動と研修や相談員養成に取り組める安定した事業継続のために、幅広く広報活動をすすめて支援強化に取り組む。

2023年度予算

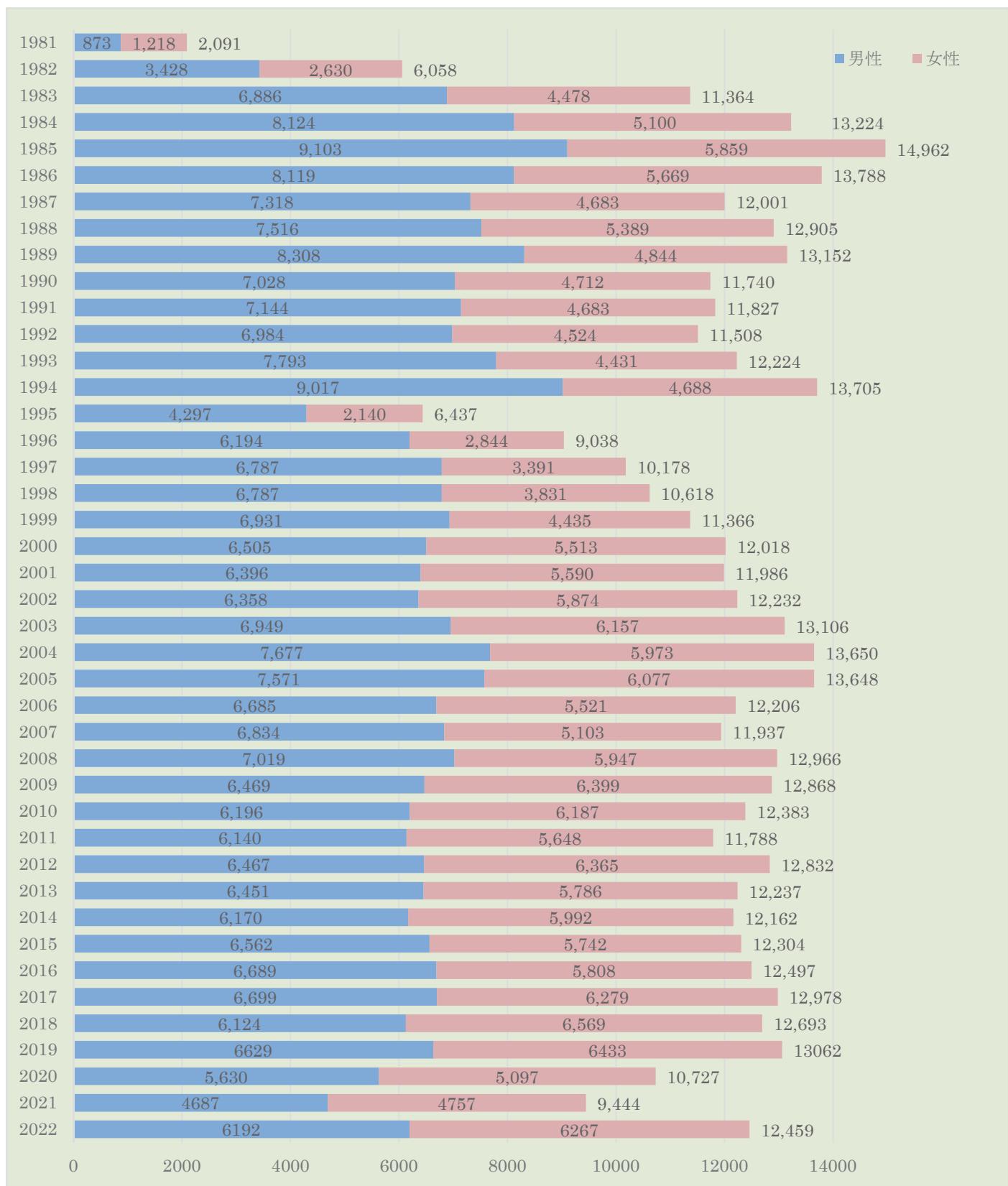
(単位:円)

	科 目	予 算 額
収	事業(養成講座等)収入	800,000
	補助金収入	8,460,000
	寄付金収入	2,500,000
入	維持・賛助会収入	1,700,000
	その他の収入	300,300
	収入の部合計	13,760,300
支	人件費	4,570,300
	事業費	8,992,000
	継続研修等経費	1,600,000
	公開・養成講座等経費	1,050,000
	相談員活動・研修費	324,000
	交通費・郵便通信費	3,120,000
	印刷製本・図書費	790,000
	活動維持費	2,108,000
	事務費	198,000
	支出の部合計	13,760,300
	収支差額	0

2023年 度 役 員	
理事長	水野 雄二
理 事	濱 浩一
	井出 浩
	宗行 孝之介
	藤井 薫
	中道 京子
	宮里 哲秀
評議員	横山 政夫
	川崎 厚志
	飛田 雄一
	井上 真二
	安行 英文
	上谷 佳宏
	南部 眞理子
	高内 憲一
	石川 益子
監 事	山根 泉
	上杉 徹

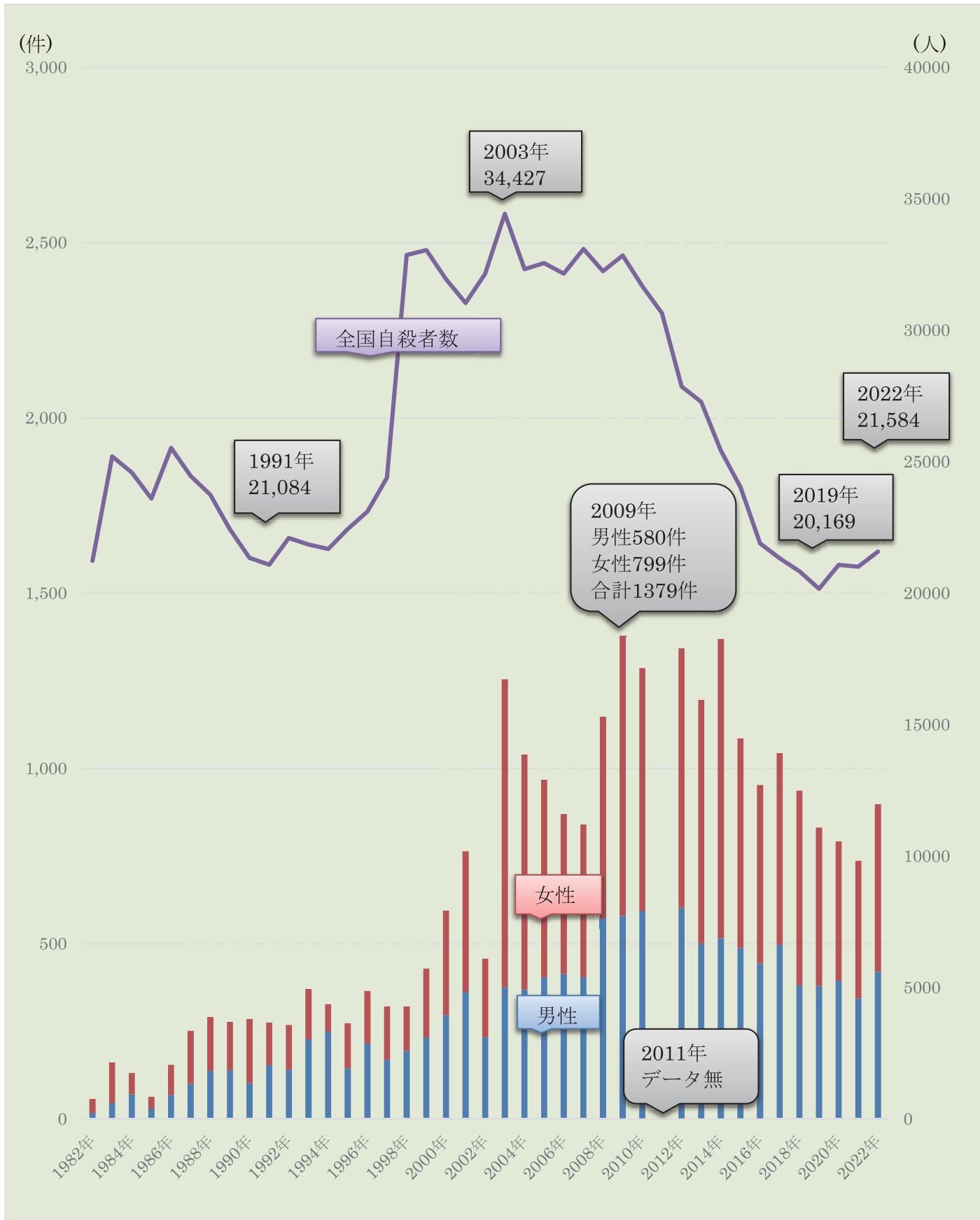
III. その他

年間総受信件数(男性・女性) 暗年推移



※累計 男性 277,736 件 女性 214,633 件 合計 492,369 件

神戸いのちの電話で受けた自殺傾向のあった電話の件数と全国自殺者数推移(暦年)



神戸いのちの電話 研修委員

藤井 薫	元頌栄短期大学 社会福祉士 精神保健福祉士
井出 浩	浅野神経内科クリニック 精神科医
本多 雅子	神戸臨床心理の会
戸田 みな子	カウンセリングオフィス神戸同人社 臨床心理士
岩崎 久志	流通科学大学 公認心理師 臨床心理士
岡田 由美子	たかみやこころのクリニック 公認心理師 臨床心理士
阪田 憲二郎	神戸学院大学 臨床心理士 精神保健福祉士
白石 大介	武庫川女子大学名誉教授
都村 尚子	関西福祉科学大学大学院教授
長谷川 泉	神戸親和大学 公認心理師 臨床心理士
原口 美佐代	大阪バイオメディカル専門学校 社会福祉士 精神保健福祉士
南部 真理子	神戸市健康局 臨床心理士

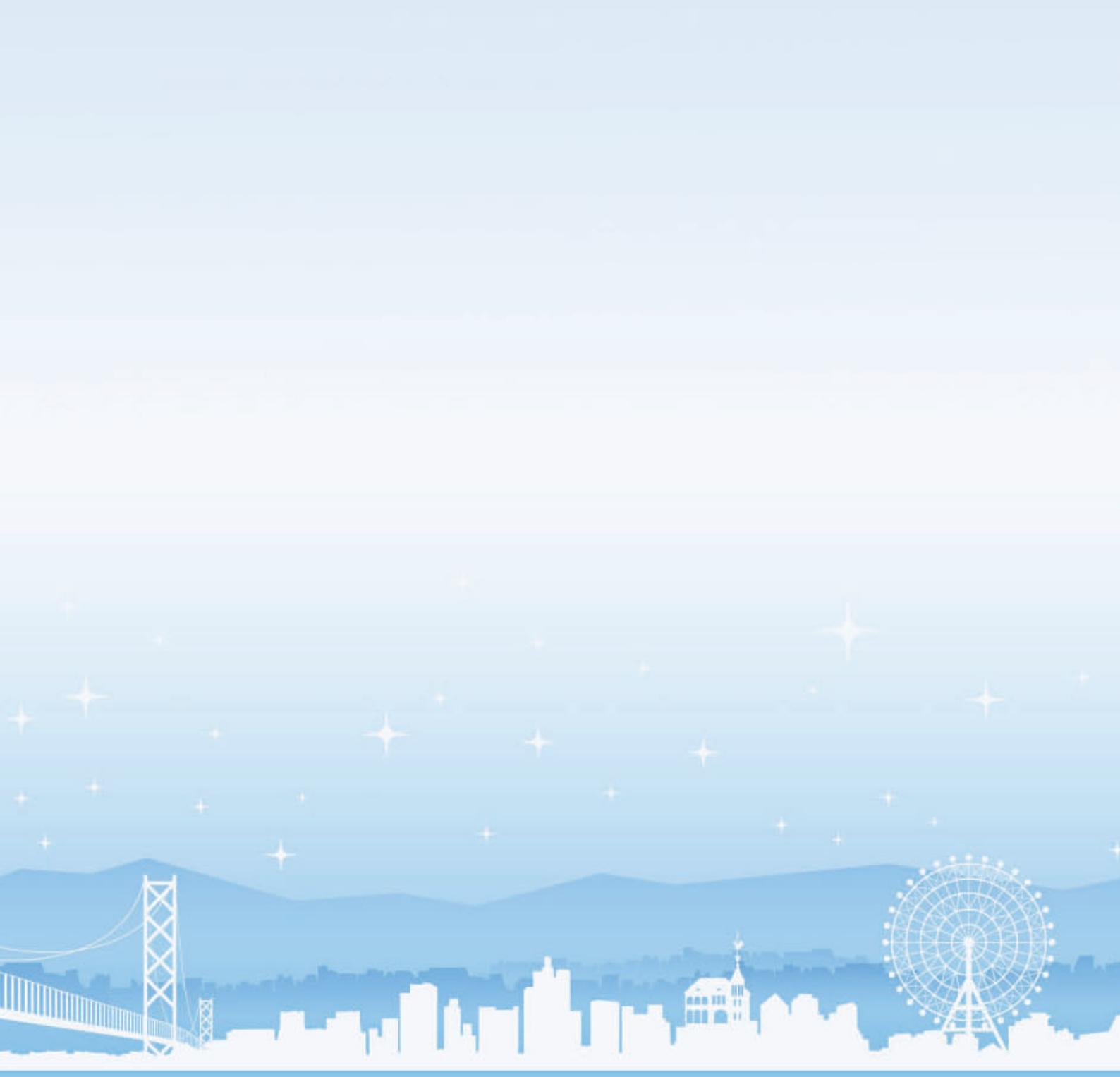
後援会メンバー

会長	雀部昌吾(バンドー化学)	世話人	藤尾益也(神明)
副会長	中道基夫(神戸YMCA)	〃	高嶋良平(高嶋酒類食品)
世話人	瀧川博司(兵庫トヨタ)		
〃	寺本 督(淡路屋)		



「神戸いのちの電話」の活動は 皆様の温かいご支援に支えられています

神戸いのちの電話は、孤独な中で悩みを抱えて助けを求めている人の心に電話を通して寄り添い、「あなたを決してひとりにしない」との想いをもって日々努力しています。私たちの活動は多くのボランティア相談員の奉仕に支えられていますが、電話相談活動を円滑に運営するためには、年間1千万円を超える経費が必要です。兵庫県や神戸市、他にもさまざまな団体の補助金もありますが、維持会員や賛助会員および一般寄付による支援がなければ運営できません。お一人でも一団体でも多くのご支援を頂き、今この時間にも生きづらさの中に不安や悩みを抱えている人々の隣にいて、支えとなる活動を続けて行きます。ご支援をよろしくお願ひ致します。



発行年月	2023 年 6 月
発行者	社会福祉法人 神戸いのちの電話
発行責任者	理事長 水野雄二
住所	〒650-8691 神戸支店郵便私書箱 1103 号
電話／FAX	078-371-4405／078-371-4355
E-mail	kind4343@viola.ocn.ne.jp
公式 Web サイト	https://kobe-lifeline.org